事例No.	2611
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人情報ステーション

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

特定非営利活動法人情報ステーション

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

特定非営利活動法人情報ステーション　千葉県船橋市

概　要

年齢や性別、職種、所得を選ばない本の持つ力を活用し、地域住民の交流の場として民間図書館を運営している。貸し出す本は全て寄贈されたもので、本の寄贈、運営ボランティア、図書館の利用といった様々な関わり方により、各人の都合に合わせて図書館に関与することができる仕組みとなっており、コミュニティ形成の場として機能している。
本の貸出に際しては、冊数を2冊と少なくすることで図書館を訪れる機会が増えるようにするなど、コミュニケーションを図る機会が増えるよう工夫している。



評価された点

・手作りの図書館を地域コミュニティの拠点とし、地域の人たちの交流を生み出す仕組みはとてもユニークで魅力的。高齢者を中心とする地域住民がボランティアとしての受け皿になっている点も評価できる。今後の取組みとして、空き家で図書館を運営し、空き家対策にもつなげていく構想にも期待したい。
・ただ本を貸し借りするだけではなく、本を通じて利用者同士の交流や地域に貢献しようというボランティアに場所を提供している。また、市民大学を開催し従来の図書館の機能を拡大して活動している。
・図書館は今後地域の情報センター、交流センターの拠点となると予想されている。当該団体は、本を触媒に人をつなげる役割を果たして、効果を上げている。



チームよつてら　千葉県四街道市

概　要

地域の拠点である公民館が若年層に有効に活用されず、地域コミュニティの希薄化、居場所づくりの必要性等の課題を抱えていた。また学校現場だけでない、地域の資源を生かした多様な体験を含む教育活動を行う必要性が求められていた中、
公民館等を活用し、小学生を対象とした学習支援、体験学習を行う「寺子屋」を高校生、大学生を中心とした団体「チームよつてら」が地域と連携し実施。



評価された点

・公民館を活用し、小学生を対象とした寺子屋は珍しく、高校生や大学生の先輩たちとの交流で、地域での思い出づくりにつながり、地域への愛着につながる優れた取り組みと考える。
・地域の高校生、大学生が小学生向けの「寺子屋」を通じて、地域コミュニティを活性化している好事例。ＯＢ・ＯＧも参加し、継続性も期待できる。
・大学生や高校生など、若者が主体となって寺子屋事業に取り組んでいる点を評価したい。年齢の近い学生から勉強を教えてもらえる場は小学生にとって、とても貴重で、サポート役の学生たちも、色々な世代の人たちと関わることで多くのことを学ぶ良い機会となっている。若者が得意とするＳＮＳの活用等により、今後更なる発展が期待できる。
・学生が考えたことを実施し、子供たちの意思を活かしたことは大きいと思う。やればできる、願えばかなうという精神。

